

る國土計畫の必要を説かれ、應急的には工業規制地域
設定の如き考へ方となつたのである。他方に於ては、
の時期に地方に分散し或は地方に新設せられた工場
この建設に際して充分の計畫性を缺き又多く事業者の
便宜に奪せられた如き結果として、最初には土地利用
に關し後には勞務問題を含めて農工間の調整を必要と
することゝが痛感せられたに至つた。

三、かゝる意味での農工調整は先づ臨時農地等管理
令、農業生産統制令として局部的應急的措置が採られ
たが、これ等の措置は消極的であり、應急的弊害救済
策もあり、工業の地方進出を邀へて積極的に農工のよ
り高き統一によつて國の生産力昂揚を圖る施策が要

せられて来た。殊に防空の必要によつて自動車がかげら
れた過大都市疎開の爲に、工業規制地域及び建設地域
に關する暫定措置要綱によつて、四大工業中心地の膨
脹を抑へ工場を地方へ急速に疎開せしむる爲の第一歩
が進められたに至つて農工間の接觸は多くなり農工調
整の必要は彌々痛感せられた所となつた。

昨日の美田は工場敷地乃至豫備地となり、多數の農
民やその子弟は離村し或は通勤して工場勞務者となり
、食糧生産に少なからざる影響を來すと共に一極に對
する影響も考慮せられたが、昭和十九
年の第八十四帝國議會に於ては食糧問題は國民の最低
栄養維持の問題として論議せられた。食糧の配給は工